

第 8 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けた 本人ミーティングワーキンググループ報告書

1 目的

認知症施策の企画・立案、計画策定において、認知症の方本人や家族の声を聴き反映させることが必須とされている。本人ミーティングにおいて、生活状況や要望を聴き取り、必要な施策を検討する。

2 ワーキンググループメンバー

鵜浦委員 油山委員 志寒委員 神野委員

※認知症の方を支援する地域密着型サービス代表委員とケアマネジャー代表委員
事務局：高齢者支援課在宅療養係

3 実施結果

別紙のとおり

4 課題

(1) 居場所や活躍の場の創出

- ・現在の生きがいや本人らしい暮らし方に寄り添える場
- ・本人の希望の実現や尊厳を大切にできる場
- ・一人ひとりが心地よく過ごせる場所
- ・本人・家族の参加の場で傾聴できる支援者視点にならない支援者の育成
- ・本人ミーティングや家族会、認知症カフェ等の場の周知

(2) 地域生活の継続

- ・外出時の安心のため、見守りの場や休憩できる場の提供
- ・生活の中で助けが得られる、地域の取組に参加し続けられるような近隣住民の理解

(3) 家族の理解

- ・できることや生きがいを尊重する自然なサポート

(4) 地域での生活を支える制度の理解

- ・成年後見制度や権利擁護事業の理解普及
- ・地域密着型サービス等の理解

(5) 参加しやすい介護予防や認知症予防の取組

5 第 8 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画にむけて

地域団体や事業者、関係機関との協働により、本人が活躍できる場の確保や認知症とともに希望をもって生活できる地域づくりに取り組んでいく必要がある。

例えば、認知症サポーター・ステップアップ講座受講者などで支え手を育成し、本人ミーティングに参加していただくなどチームオレンジとしての活動や介護家族の会、認知症カフェなどに本人ミーティングの周知を行う。